

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開

1 健康寿命を延ばす取組

具体的取組 1 健康づくりの支援

指標

あさひ健康フェスタの参加者に対するアンケートを実施し、「健康寿命を延ばそうと思う」と答えた方の割合

目標値 70%以上

達成状況 未測定※

※健康フェスタの中止により測定できなかった

取組実績

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止によりあさひ健康フェスタは中止した。
- ・がん検診の案内を区広報紙に掲載（11回）したほか、ホームページやティッシュ型ビラの配布により周知した。

課題や改善策

【課題】

新型コロナウイルス感染症の拡大が繰り返される間は、集客型である「健康フェスタ」の開催は難しい状況が続くが、健康づくりの支援となる啓発活動の手法について、引き続き検討する必要がある。

【改善策】

集客型の「健康フェスタ」は新型コロナウイルス感染症の収束をもって再開することのほか、ホームページや広報紙の媒体や在宅医療介護連携事業等の活用で啓発活動を実施する。

[illegible]

広報誌掲載 がん検診の案内

令和3年度の主な取組

- ・ 区民の健康意識の高揚を図るため、医師会・歯科医師会・薬剤師会及び地域活動協議会等の各種団体と連携して健康フェスタを開催
- ・ 区民の健康寿命延伸のため、がん検診受診について区広報紙等で周知

21

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開

1 健康寿命を延ばす取組

具体的取組 2 高齢者の活力向上支援

指標

いきいき百歳体操参加者アンケートで、筋力の維持増進に繋がっていると答えた割合

目標値 80%以上

達成状況 83.3%

取組実績

- ・ いきいき百歳体操
22グループが10～12月に開催したが、年末から年度末にかけて新型コロナウイルス感染症の第3波の拡大により、30すべてのグループが活動を中止した。その後、16グループは3月に再開した。コロナ禍における各グループの取組をリーフレットにして配布し情報共有に努めた。
- ・ 健康大学
10～12月に開校し、14名が修了した。

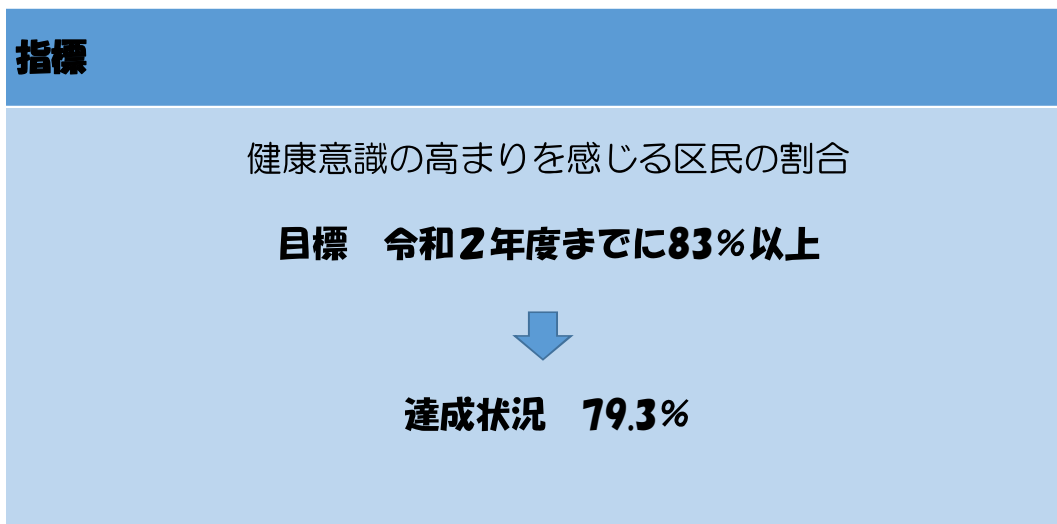


百歲体操

令和3年度の主な取組

- ・「いきいき百歳体操」のグループに対して、コロナ禍でも活動を継続できるための支援として、新型コロナウイルス感染症への対応方法等に関する正しい知識の啓発や普及を行う
- ・「いきいき百歳体操」普及のために「あさひ健康フェスタ」において90歳以上の「いきいき百歳体操」参加者を表彰
- ・在宅医療・介護連携推進会議を定期開催し、情報共有をはじめ各関係機関と連携
- ・健康大学を開催し、健康づくり・食育推進のリーダーを養成して、健康のための自主管理の方法を広く周知
- ・認知症予防の自主活動育成を目的とした「地域型認知症予防プログラム」を実施し、自主活動を支援

戦略2－1の成果指標



23

具体的取組1 誰もが活躍できる仕組みの確立

指標

授産製品の物販等の活動をしている
団体や事業所を対象とした活動の支
援についてのアンケートでの満足度

目標値 80%以上



達成状況 92.5%

取組実績

- ・2年4月に旭区地域福祉計画を策定した。
- ・区役所庁舎内及び「あさひあったかサテライト」における授産製品の物販支援を行った。
(4、5月は中止、6月から再開(区役所庁舎内月2回、サテライト月1回))
※中止は新型コロナウイルス感染症の拡大防止による。
- ・「障がい者週間」(12月3日～9日)に合わせて、区庁舎前や地下鉄駅掲示板などを活用し、障がい者の権利に関する啓発活動を行った。



障がい者福祉事業所の授産製品販売

令和3年度の主な取組

- ・障がい者福祉事業所の授産製品の物販や、作品展示等の場を提供し、活動を周知
- ・「障がい者週間」(12月3日～9日)に開催される座談会や交流会を通じて、啓発活動を実施
- ・旭区障がい者基幹相談支援センター、旭区地域自立支援協議会の活動の周知

24